
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 創刊号（2016. 7. 15）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン創刊号をお届けします。たくさんのメールマガジンの会員登録をありがとうございました。現在の会員数は2,600を超えています。

また、メルマガの名称の応募もたくさん頂き、ありがとうございました。170件の応募名から、親しみやすさ、地域資源保全という多面的機能支払の目的をうまく表している「農村ふるさと保全通信」に決定いたしました！（採用された方には、多面的機能支払の活動地域の特産品をお届けします。）

これから、月1～2回程度で、皆様のリクエストに応えながら、役に立つ情報をお届けします。

==== 第1号の目次 =====

1. 制度の改正

2. 活動組織からの活動紹介

☆多気町勢和地域資源保全・活用協議会（三重県）の活動紹介☆

☆美原地域環境保全会（北海道）の活動紹介☆

3. 事例の紹介

（1）中山間地域における取組

（2）熊本地震の復旧活動

4. 地域資源保全女子プロジェクトの案内

5. 多面的機能支払交付金事例研究会の案内

（編集後記）

=====

■ 1. 制度の改正 ■ -----

平成 28 年 4 月 1 日に多面的機能支払交付金実施要綱・実施要領の改正を行い、広域的な活動を展開する組織（実施要綱別紙 5 の広域活動組織の規模を満たす組織）に対して、資源向上支払（長寿命化）におけるメリット措置を設けました。

広域的に活動を展開していない活動組織は、新たに事業計画を認定、または変更する場合、資源向上支払（長寿命化）の交付額減額の対象となります。

広域的に活動を展開すれば、メリット措置だけでなく、水路補修工事の経験者の確保や事務手続の効率化など、様々な利点があります。まずは市町村等がリーダーシップをとって、組織と相談してみてください。

多面的機能支払交付金に関する詳しい情報はこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

■ 2. 活動組織からの活動紹介 ■ -----

☆多気町勢和地域資源保全・活用協議会（三重県）の活動紹介☆

「地域の問題や子どもたちの将来…どうしたらええんかな？」

「私ら、何したらええんかな？」

四年前、何気ないこんな会話が『おまめさんかなあプロジェクト』の始まりでした。

多気町勢和地域資源保全・活用協議会では、多面的機能支払制度を活用し、勢和小学校の子どもたちと一緒に遊休農地を活用し大豆を育てる活動『おまめさんかなあプロジェクト』に取り組んでいます。小さくてかわいい手で一生懸命種を蒔き、土の匂いや感触を感じ、大豆を加工してあじわうなど五感をたくさん使うことを大切にしています。スタッフは子どもたちの笑顔に元気をもらい、そしてまた地域みんなが元気になる。

『おまめさんかなあプロジェクト』は子どもたちの心にもずっと種を蒔き続けていきたいと思っています。

多気町勢和地域資源保全・活用協議会 HP

→ <http://www.tachibai.jp/kyougikai/sigenhozenindex.html>

【多気町勢和地域資源保全・活用協議会事務局 森本有紀】

☆美原地域環境保全会（北海道）の活動紹介☆

美原地域環境保全会は、札幌市に隣接する江別市の美原地域で保全会活動

を行っています。

この地域は都市近郊ながら多くの農用地を有し、水稻や春まき小麦の「ハルユタカ」などを生産しています。

私たち J A 女性部では以前から地域を明るくする活動を通じて防犯や交通安全につながればとの思いから、道路沿いにマリーゴールドやペチュニア、ガザニアなどの植栽を行っていました。

平成 19 年度からは J A 女性部として当保全会に参画し、多面的機能支払交付金を活用した景観形成・環境保全の活動へと取組みを継続することで、参加者も増え、活動は活性化し、他の活動団体や地域住民との交流も増えました。

今年も植栽活動をはじめとする地域の活動に参加し、地元の子供たちや地域住民とともに楽しみながら、女性ならではの視点で企画の提案をするなど、よりよい農村環境の向上のために頑張っています。

【JA 道央女性部江別ブロック美原支部 支部長 保倉貴子】

■ 3. 事例の紹介 ■ -----

(1) 中山間地域における取組

今回は広島県東広島市で活動する高屋広域協定運営委員会をご紹介します。

本組織は、平成 19 年から活動しており、今は 7 集落が一つの広域活動組織として活動を行っています。

そのうちの一つの集落である貞重地区では、子ども達との田植え体験や女性会による豆腐づくりの見学等を通して、農業者と地域住民との交流を通して魅力的で住みよい地域づくりに取り組んでいます。また、中山間地域に位置しているため、大きな農地法面の草刈り等の管理が課題となっていました。生態系に配慮しつつ法面へのシバザクラの植栽を行うことにより管理を省力化するとともに、美しい農村景観づくりを目指しています。

本組織の他の集落の取組状況やシバザクラの植栽の写真等については、広島県土地改良事業団体連合会の HP にも掲載されていますので、ご覧ください。

広島県土地改良事業団体連合会の活動紹介パンフレット (PDF)

→ <http://www.hdn.or.jp/10kouhoushi/243.pdf>

【農地資源課 大野】

(2) 熊本地震の復旧活動

熊本地震の発生により、農地・農業用施設等も甚大な被害を受けました。大

規模に被災した施設は、市町村等により災害復旧事業の査定前着工等が行われ復旧されていますが、農地周りの水路等の小規模な被災箇所は、多面的機能支払の活動組織により応急措置や補修が行われています。

これらにより、多くの農地で水稲作付が可能となっています。例えば、熊本県嘉島町では、地震による被災の影響のあった水田約 700ha のうち、約 8 割の 600ha 程度で水稲の作付けが可能となり、「多面的機能支払交付金があった」という声が聞かれました。6 月末の豪雨により被災した水田もありますが、今年作付けした水稲が順調に生育することを祈っています。

【九州農政局農地整備課 波瀬】

■ 4. 地域資源保全女子プロジェクトの案内 ■ -----

「地域資源保全女子プロジェクト」と称して、各地方農政局等管内において、活動組織や事務局等で活動に携わっている女性を集めて、意見交換を行っています。

これは、活動組織には、まだまだリーダー的な役割を担っている女性が少ないことから、女性活躍の機運を高め、活躍しやすい環境づくりを進めることを目的にしています。

このプロジェクトは、意見交換のほか、広報の専門家を招いて、広報のノウハウを修得するためのワークショップも実施しています。

今後、近畿農政局（京都府京都市：7/28）、関東農政局（埼玉県さいたま市：8/26）、沖縄総合事務局（沖縄県那覇市：8/29）、東北農政局（宮城県仙台市：日程未定）、九州農政局（熊本県熊本市：日程未定）において開催を予定しています。

■ 5. 多面的機能支払交付金事例研究会の案内 ■ -----

昨年度、10 月 9 日に初めて全国事例研究会を開催し好評を頂いたことから、今年度も開催します。

全国各地で創意工夫により活動している事例を紹介するとともに、参加者との意見交換を行い、今後の活動に活かして頂くため、以下の日程にて開催を予定しております。

詳細については、後日改めてお知らせ致します。

開催日：平成 28 年 11 月 1 日（火）

場 所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1
東京大学農学部内）

■ 編集後記 ■ -----

東京は蒸し暑い天気が続いていますが、皆様のお住まいの地域ではいかがでしょうか。私は暑さに弱いので、家ではクーラーがフル稼働です。

さて、「農村ふるさと保全通信」創刊号をお届けしました。メールマガジンに関するご意見・ご感想を、下記のアドレスにお寄せください。頂いたご意見をもとに、今後どんどん改良していきます。

次回のメールマガジンでも、活動組織の活動紹介を行う予定です。それでは、第二回目の配信でまたお会いするのを楽しみにしています。

◇メールマガジンの新規登録等は次のサイトからお願いします◇

メールマガジンの新規登録・配信変更等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

※事前登録された方は、始めにパスワードの再設定を行ってください。

メールマガジンに関するご意見・ご感想はこちらから

→ tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：秋山）

TEL：03-3502-8111（内線5493）